



第4回

公共施設マネジメントに関する PPP/PFI 入門セミナー

地域プラットフォーム設置・運営を通して

令和7年2月14日

愛知県岡崎市 総合政策部企画課 伊藤雄太

# 本日お話させていただく内容について

- ✓ 岡崎市SDGs 公民連携プラットフォームのご紹介  
(設立経緯や特徴、これまでのあゆみなど)
- ✓ 内閣府からのご支援内容とこれまでの成果、今後の展望
- ✓ プラットフォームの形成や参画をご検討されている皆様へ、  
運営を通じて感じたことを共有

# 愛知県岡崎市（おかざきし）について



・市域面積：387.2 km<sup>2</sup>  
東西 29.1km、南北20.2km  
市域面積の約60%が森林

・人口：383,141人(2024年4月)  
中核市

・産業別就業者割合2020年(全国平均)

第1次産業	1.3	%(4.0)
第2次産業	39.1	%(23.4)
第3次産業	59.6	%(73.4)

・自治会加入率 90%

・財政力指数：1.01  
(直近3か年平均値)



行政課題の解決を通じて  
新たな市場の  
創出を図るための  
公民の対話の場

# 岡崎市SDGs公民連携プラットフォームの設立経緯

多様化する社会課題や市民ニーズに対し、公民連携によるきめ細やかなソフト事業を促進すべく、プラットフォームや民間提案制度の構築・充実化を進めていく必要がありました。

- 1 本市では、岡崎市公民連携取組方針（2019年2月策定）やSDGs未来都市計画（2020年7月策定）、第7次岡崎市総合計画（2021年4月策定）などにに基づき、公民連携によるまちづくりを推進
- 1 多様化する社会課題や市民ニーズに対応するとともに、都市の魅力や活力を維持し、三河地域を代表する中枢中核都市として市民の信頼を得ていくために、公共サービスを民間事業者・市民・団体・NPO等を含めた多様な担い手との「公民連携」による良質かつ効率的な公共サービスの提供が必要
- 1 今後は、多様化する社会課題や市民ニーズに加え、新型コロナウイルス感染症による経済や生活に対する影響への対応が必要である一方、まちづくり、ひとづくり、しごとづくりの好循環を更に加速させる必要があり、よりきめ細かなニーズに対応できるよう、公民連携によるソフト事業の促進が必要



民間企業への情報発信や事業の具体化に向けた意見交換の場となる **プラットフォーム**



プラットフォームで集約された案件の種を事業化する仕組みとしての **民間提案募集制度**

# 岡崎市SDGs公民連携プラットフォームの特徴

## PPP/PFI 推進のための 下地

### PPP/PFIを推進していくための庁内体制の構築

- ✓ 総合計画の基本指針へ「公民連携による成長戦略の推進」を位置づけ
- ✓ 「公民連携取組方針」「PPP/PFI手法導入優先的検討規定」を整備
- ✓ 政策の検討、調整、決定の場をあらかじめ整理

## 意見交換の 対象

行政課題・地域課題に対して広く公民連携による解決を図るべく、ハード事業だけでなく、**ソフト事業も積極的に取り扱う**

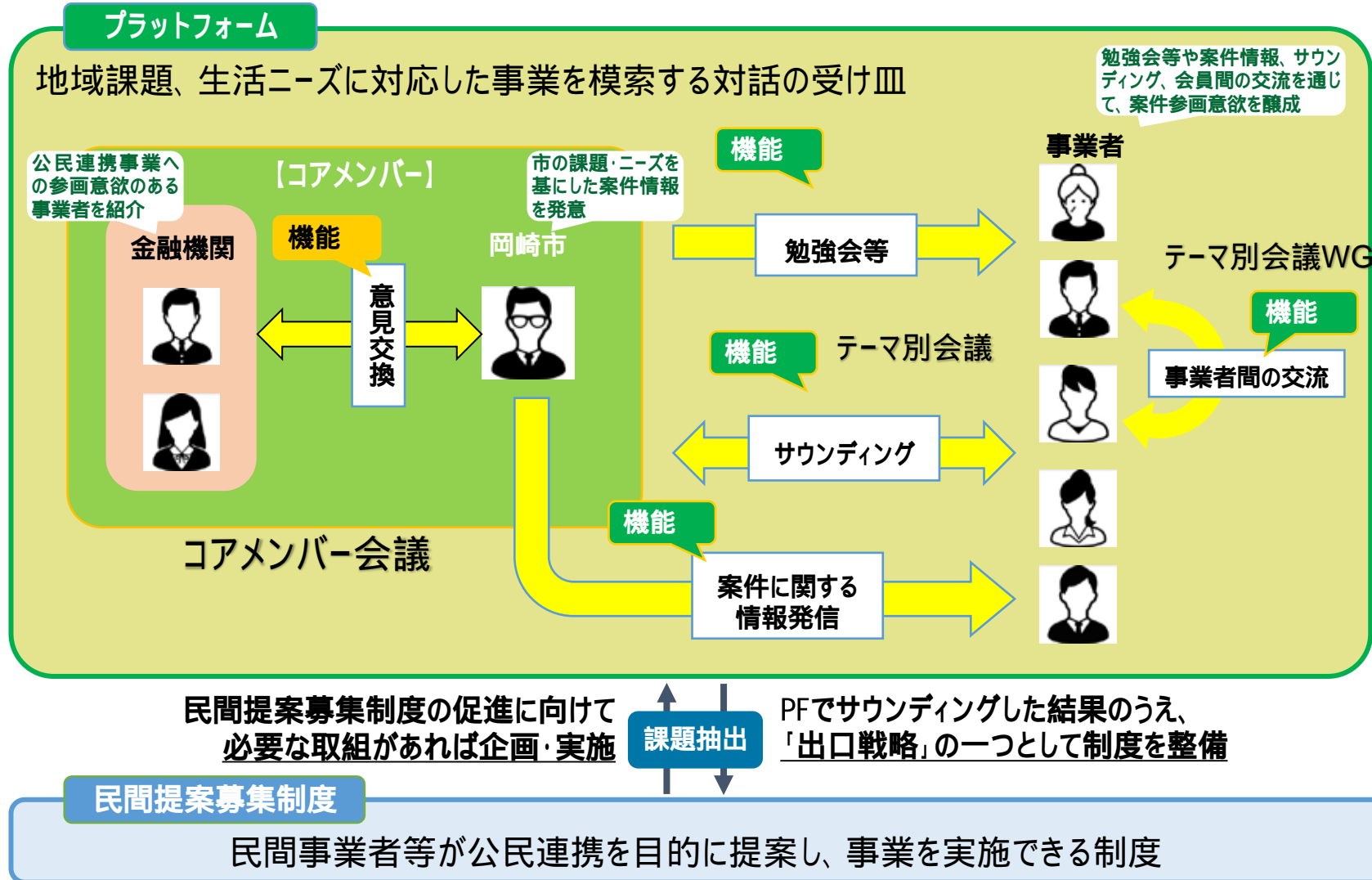
- ✓ 庁内各課、民間事業者取双方ともに参画しやすいプラットフォームへ

## 意見交換後 の事業化

### 事業化を進めていくための**出口戦略の整備**

- ✓ 「民間提案募集制度」...課題解決に向けた事業化の「型」を整備
- ✓ 意見交換テーマにとどまらず、民間事業者からの発意による提案も可能

# 岡崎市SDGs公民連携プラットフォームのスキーム図



# 岡崎市SDGs公民連携プラットフォームの3つの機能

## プラットフォームの機能要件

公民連携に関する課題	求める機能	概要	取組み例
公民連携の担い手不足	機能 普及啓発・ 人材育成機能	ü 本市の考える公民連携のイメージを共有し、公民連携による各課題の解決に向けた <u>発意を促進、具体的な案件形成につながるよう、公・民それぞれを対象としたセミナーの開催等を通じて人材育成を促進</u>	nセミナー n事例説明会 n勉強会
サウンディングの仕組みがない	機能 情報発信・ サウンディング機能	ü 案件に係る市場性の有無や事業アイデアの掘り下げ、民間事業者の参入意向や参入条件等について意見聴取 ü それにより、 <u>公民連携による事業化に向けたステップへと進捗</u>	n検討段階の案件の情報提供 nサウンディング n実証実験の実施
公民連携に取り組む民間同士の交流の場がない	機能 交流機能	ü 事業者同士の交流機会を提供し、とりわけ地元企業の <u>異業種間ネットワークの構築を促進</u>	n交流会 n意見交換会



# 岡崎市SDGs公民連携プラットフォームのあゆみ

R2年度

R3年度

プラットフォーム**構築**に向けた**調査検討**を開始

R4年度

プラットフォームの**実装**に向けた**試行的な開催・検証**の実施

R5年度

内閣府「地域プラットフォーム形成支援事業」によるご支援

**「岡崎市SDGs公民連携プラットフォーム」設立・運用開始**

R6年度

内閣府・国土交通省「PPP/PFI地域プラットフォーム協定制度」協定締結

プラットフォームにおける**意見交換・事業構築・広域化**を推進

今年度から近隣自治体  
(幸田町)も参画!

# 令和5年度 岡崎市SDGs 公民連携プラットフォームの開催実績

## 令和5年度の取扱いテーマ

	ふくし相談課	ゼロカーボンシティ推進課	公園緑地課
テーマ	高齢者等に対する身元保証・生活支援・死後事務などに関するサービス提供体制の確立（終活応援事業）	市内事業者・住民による太陽光パネル等の設置促進	東公園売店募集
実施目的	上記サービスを一括で提供できる公民連携によるスキームを検討	市内の脱炭素化、資本の域内循環、市内事業者のノウハウの蓄積を目的とする「認定制度」による補助スキームを検討	売店を利用した、市民が楽しめる公園づくり
プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"><li>検討スキームにおいて、事業者によるグループ組成の可否・条件確認</li><li>公募への懸念点等のヒアリング</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>認定団体として参入するにあたり、課題及びメリットの確認</li><li>事業者・住人の設備導入の動機確認</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>公募要件緩和の可否や、採点配分についての意見確認</li></ul>
結果	公募期間を長期に設定 5グループの応募を受け、全採択 令和6年7月からサービス提供開始	ヒアリング結果をもとに、認定制度の基準調整中	公募条件を緩和 2件の応募を受け、1件採択 令和6年3月に営業開始

# 令和5年度 岡崎市SDGs 公民連携プラットフォームの開催実績

## 令和5年度の取扱いテーマ（続き）

	社会教育課	多様性社会推進課	行政経営課・観光推進課
テーマ	重要文化財旧額田郡公会堂及物産陳列所の活用	女性へ柔軟な働き方(テレワーク等)の継続的な支援	桑谷キャンプ場の利活用
実施目的	修復工事に10年以上かかる国の重要文化財の活用可能性を調査	女性が働きやすい環境づくりの1要素として、テレワークの可能性を検討	再び魅力ある施設とするための公民連携の可能性を検討
プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"><li>修復工事後の公会堂の活用方法及び課題確認</li><li>重要文化財の学術的・商用的価値観の共有</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>コアメンバーからの意見をもとに、事業の方向性を再検討</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>担当者とともに現地確認</li><li>活用可能性についてヒアリング</li><li>活用にあたっての課題確認</li></ul>
結果	修復工事の検討材料として活用	再検討スキームにて公募2件の応募を受け、2件採択	3件公募参加意向あり 公募に向けて調整中

# 令和5年度 岡崎市SDGs 公民連携プラットフォームの開催による成果

## 高齢者等に対する身元保証・生活支援・死後事務などに関するサービス提供体制の確立（終活応援事業）

### 老活コンシェルジュのご案内

身寄りのない方が安心してサービスを選べるよう、サービス提供体制の構築について岡崎市と連携協定を締結しています。  
※サービスの利用契約に岡崎市は関与しません。

市民からの問い合わせ → まごころサポートセンター → あいち相続あんしんセンター

内容を精査し、お客様ニーズに合わせ、適切な事業者をご紹介します

- ご葬儀 → イズモ葬祭
- 死後事務委任、(任意後見、財産管理、他) → あいち相続あんしんセンター
- 身元保証 → NPO法人よりそいの会
- 不動産売買 → 不動産仲介のムツミ
- お片付け → アールイーサービス
- 見守り → アルソック

詳しい内容は裏面をご覧ください。

無料相談 **まごころサポートセンター** お問い合わせ・アフターフォロー  
年中無休 8:30~17:00 月～木 まごころ  
0120-72-0556

### 老活コンシェルジュ 対応内容一覧表

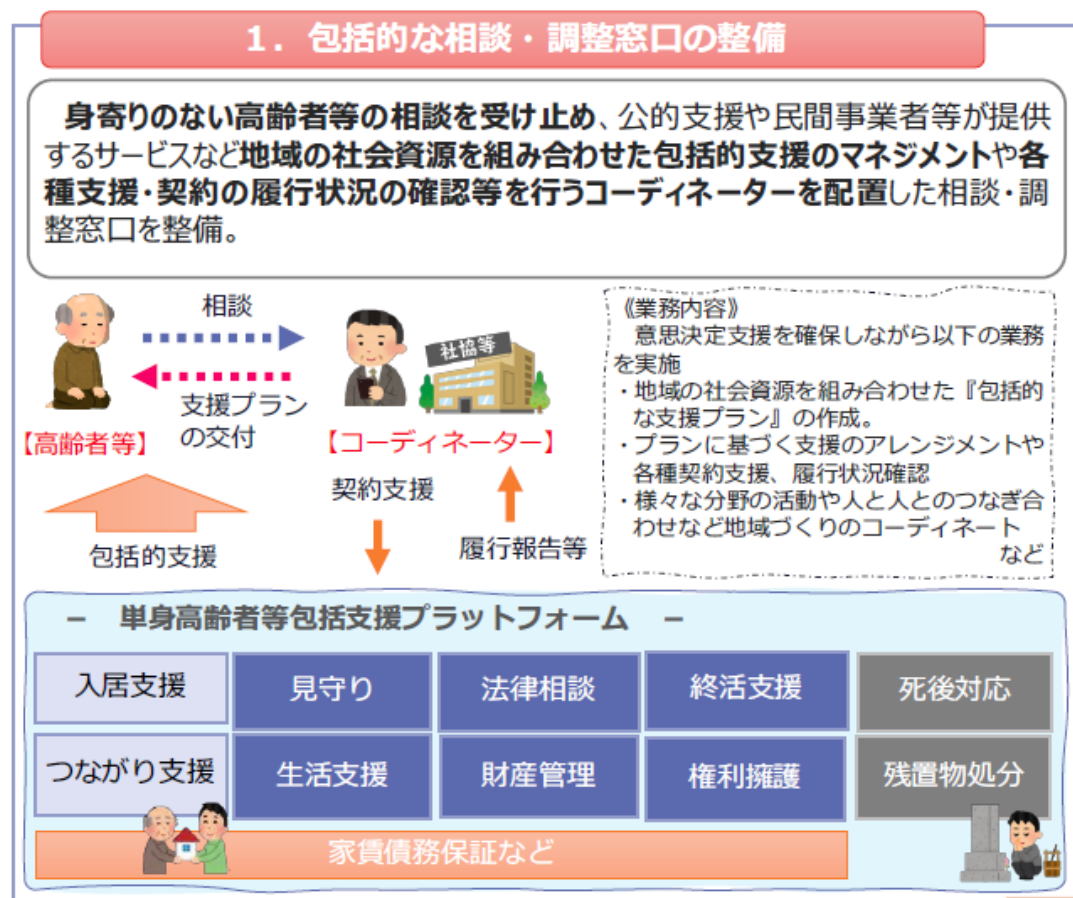
事業者名	対応区分	内容	料金表示
あいち相続 あんしんセンター	不動産名義変更	相続書類の作成 ※	90,000～
		任意後見契約書作成	98,000～
		財産管理契約	80,000～
	後見・財産管理	成年後見申立 ※	150,000～
		(手数料・実費)	20,000～
		(確定が必要になるケースは※※※の鑑定費用(50,000程度)が必要になります)	
	死後事務委任契約	死後事務委任	60,000～
遺言書	遺言書作成(証人立ち合い費用含む)	70,000～	
贈与	贈与書類の作成 ※	50,000～	
信託	信託(家族信託)	450,000～	
NPO法人 よりそいの会	身元保証	身元保証(パッケージ)初期契約料	350,000～
		月会費	2,000～
		生活支援(時間)	2,000/時間
		同行(病院などの付き添い)	3,000/時間
イズモ葬祭	葬儀	直葬プラン	90,000～
		一般葬	300,000～
まごころサポート センター	供養	海洋散骨	100,000～
		永代供養	30,000～
不動産仲介の ムツミ	生前贈与契約	生前贈与(葬儀関連の贈与契約)	契約内容に依る
アールイーサービス	不動産相談	不動産調査	無料～
		不動産査定書作成	30,000～
		空家管理	50,000～
		売買・賃貸	国土交通省が定める報酬規程に基づく
アルソック	みまもり・サポート	1立米あたり 8,000円 作業に伴う2人目以降の人員費 別途 車両費 5,000円～	
		※リサイクル家電にかかるリサイクル料金 別途目安として2トンロングトラック車 10万円ほど ※買取できるものは買取または換引	
信託口座	三井住友銀行 西尾信用金庫 株式会社エススクローエージェントジャパン 静岡銀行	レンタルプランの場合 月額/3,432円(税込) ※初期工事費 18,645円(税込)	
相談連絡先	0120-72-0556 岡崎事務所：愛知県岡崎市上六町 4-1-16 担当：伊藤 (i.i.t)		

※ご相談窓口はまごころサポートセンター。各業種と初回説明はすべて無料となります。  
契約は各業者様と打ち合わせ頂き、ご納得いただければ直接契約となります。支払いは業者様より請求させていただきます。  
契約の内容はすべてまごころサポートセンターが把握しております。  
個人情報保護の観点より書士業務の内容はお答えし兼ねることがございますのでご承知ください。  
※登記及び成年後見申立は、協力先の司法書士あいち司法と相続が担当します。 2024.04 まごころサポートセンター

# 令和5年度 岡崎市SDGs 公民連携プラットフォームの開催による成果

## 高齢者等に対する身元保証・生活支援・死後事務などに関するサービス提供体制の確立（終活応援事業）

### 令和6年度 持続可能な権利擁護支援モデル事業（厚生労働省）



岡崎市成年後見支援センターに「コーディネーター」を配置

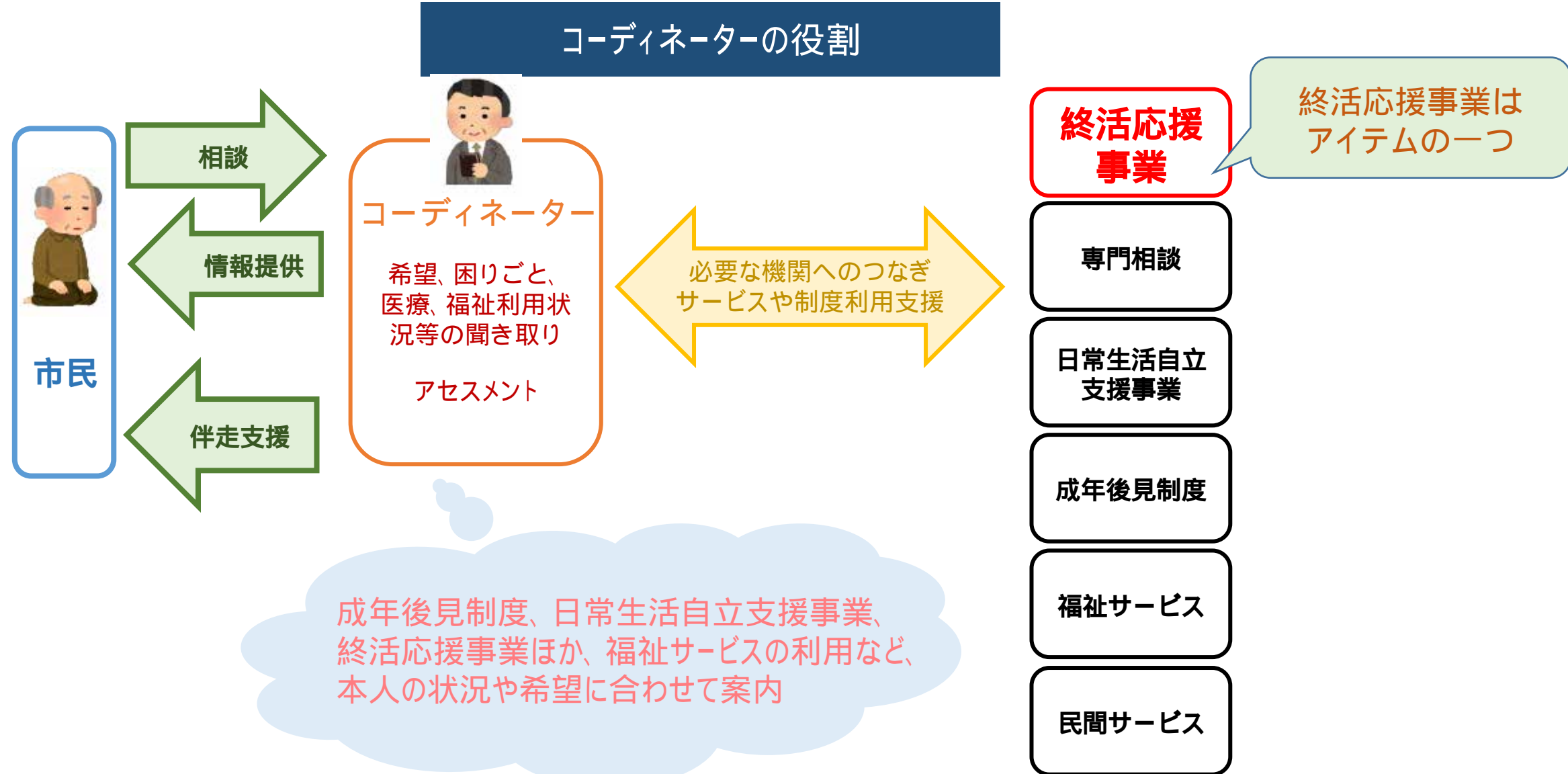
包括的な相談支援

包括的な支援のコーディネート

関係機関・関係者のネットワークの構築

# 令和5年度 岡崎市SDGs 公民連携プラットフォームの開催による成果

## 高齢者等に対する身元保証・生活支援・死後事務などに関するサービス提供体制の確立（終活応援事業）



# 岡崎市SDGs公民連携プラットフォームの各段階における狙い

## 運用段階

### テーマ設定 事業者紹介

## ポイント

テーマを設定し、コアメンバーとの調整、協議を図る上では、民間事業者に提示する**課題や事業参画のメリット・効果を具体的に提示**することが重要

### 公民の対話

テーマや課題に沿った市場性の把握について、その**特性、熟度に応じた公民の対話方法**（オープン形式、ピッチ形式、クローズド形式）を**検討**すること、また**対話のゴール（目的）を明確にして臨む**ことが重要

### テーマの精査 ・公募準備

公募に向けての検討時の課題・留意事項として、公募前の民間事業者との事前調整・連絡や**民間意向を踏まえた公募期間や時期の検討、審査方法の検討**を行うことが重要

# 令和5年度内閣府「地域プラットフォーム形成支援事業」による支援

## プラットフォームイベント（民間事業者との意見交換会）を通じた支援

項目	実施概要	支援内容とその効果
意見交換会の 開催企画・準備	<ul style="list-style-type: none"><li>庁内各課から提示のあった課題（テーマ）について、コアメンバーへの投げかけに先立ち粒度や解像度を高めるべく精査を実施</li><li>コアメンバー会議にて、全てのテーマを所管課から説明を行い課題を共有</li><li>コアメンバーへのアンケートによる各テーマへの関心度の把握及びテーマ所管課の公民連携に対する意欲等を踏まえて取扱いテーマを選定</li><li>取り扱うこととなったテーマについて改めてコアメンバー会議にて詳細説明・意見交換を行い、民間事業者との意見交換会における論点の絞り込みを実施</li><li>開催形式については、テーマの性質などから各回とも「対面開催 / オープン形式」での実施を選択</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>テーマの領域が多岐にわたる中で、各テーマをコアメンバーへ投げかける際に<b>整理すべきポイントや情報粒度の精緻化などのサポート</b>をいただいた</li><li>本市のテーマや担当課の肌感覚を共有し、開催形式などについて、<b>他地域で展開されているプラットフォームでの実績などを踏まえたアドバイス</b>をいただいた</li><li>他プラットフォームの<b>事務局との情報連携の機会を提供</b>してもらえ、PF間のコミュニケーションのきっかけを提供いただいた</li></ul>



# 令和5年度内閣府「地域プラットフォーム形成支援事業」による支援

## プラットフォームイベント（民間事業者との意見交換会）を通じた支援

項目	実施概要	支援内容とその効果
意見交換会の実施運営	<ul style="list-style-type: none"><li>参加いただいた民間事業者に向け、企画課から本プラットフォームについて、所管課からテーマについての説明を行ったのち、民間事業者との意見交換を行った</li><li>全3回で合計34社の参加があり、各回においてテーマに沿った活発な意見交換が展開された</li><li>事業化に向けた公募の際に抑えるべきポイント（期間、時期、審査方法）の共有ができた</li><li>参加事業者のネットワーキングの場にもなり、その後の事業化におけるグループ組成のきっかけとなった</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>当日の進行資料の指針となる「<b>型（フォーマット）</b>」を<b>提示</b>いただいたことで、支援期間以降の自立運営を行っていく際のガイドとなった</li><li>各テーマに関する<b>他地域での類似事例の提示</b>や意見交換時に<b>ファシリテーターとして円滑な進行に寄与</b>いただいたことにより、当課職員が進行のノウハウを学ぶことができた</li><li>事業化に向けた意見交換を参加事業者の事後アンケートにおいても「有意義だった」など一定の評価を得ることができた</li></ul>
実施結果を受けた課題の分析	<ul style="list-style-type: none"><li>実施後の振り返りにて様々な課題を認識<ul style="list-style-type: none"><li>「開催1回あたりの適切な取扱テーマ数設定」</li><li>「幅広い事業者への参加の声掛け」</li><li>「意見交換における適切な時間配分」</li><li>「配布資料の工夫」「意見交換のポイントの絞り込み」</li><li>「場回しの効率化」</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>各回の意見交換会開催当日にラップアップミーティング（反省会）を実施させていただいたことで、<b>内部の目線に加え、外部の目線での改善点について共有</b>することができた</li></ul>

## ここまでの運営を振り返って（行政側の視点から）

✓ 「公」「民」それぞれ、「使う言語」も「時間軸」も異なる。

- 「対等なパートナー」としての関係を構築していくにあたり、  
まずは**お互いの「違い」をしっかりと理解**することが重要
- 特に複数課で進めていく案件であれば、この**認識を庁内でしっかりと共有**  
できているかどうか、物事をスムーズに進められるかどうかのカギ

## ここまでの運営を振り返って（行政側の視点から）

### ✓ Win-Winに向け、想像を働かせる & とにかく対話をする。

- 課題解決に向けた連携の可能性を模索する際は「公」側だけでなく、  
「民」側の目線でメリットがあるかどうかを想像し、提示できるかどうかも重要
- 「想像する」だけでは十分でないため、正式な場での「対話」だけでなく、  
「普段の何気ない会話」も重ねることにより解像度があがっていくことが多い  
（「組織・肩書」も重要かもしれませんが、「人対人」の関係性も大切）
- その際、単に「どうしたらいいでしょうか」と聞くのではなく、  
まず「公」がどうしたいか、どうありたいかについてもしっかりと伝える

✓ これまで出た課題を踏まえつつ、  
プラットフォームを活用した課題解決を推進していきます。

→引き続き課題解決に取り組みつつ、**担い手の拡大**にも取り組みます

✓ 地域プラットフォーム協定制度の趣旨を踏まえた  
プラットフォームの広域化を推進していきます。

→同じ生活圏、経済圏である**近隣市町村の課題解決**にも取り組みます

✓ 内閣府の支援制度の活用により、プラットフォームの形成に向けた大きな力を頂きました。皆様もぜひ積極的なご活用を！

→ 運営課題の解決のため今後も支援制度を活用したいと考えています！

家康生誕の地「岡崎城と桜」です。

# 岡崎市SDGs公民連携プラットフォーム

設置の目的

- ・ 公民連携の担い手創出
- ・ 分野横断的な課題解決に向けた仕組みづくり
- ・ 公民連携に取り組む公民及び民間事業者  
同士の交流の場づくり

設立：令和5年6月

代表：岡崎市

コアメンバー

自治体（幸田町）

金融機関（信用金庫2庫、地方銀行5行、  
メガバンク3行、日本政策金融公庫）

事務局：岡崎市総合政策部企画課

## 令和5年度（設立年度）の活動実績

### セミナー（設立総会）

テーマ：金融機関が公民連携を推進する意義  
～香川県域プラットフォーム紹介～

講師：株式会社百十四銀行 大森様

参加者：コアメンバー

### サウンディングについて

回数：4回 / 案件数：6件 / 参加者数：83名

### その他活動実績（特徴的な取組等）

✓ コアメンバーはメガバンクから地銀・信金など様々な  
顧客層を持つ11機関が加入している。

✓ ソフト事業を中心に取り扱っている（ハード案件も対応）

✓ 事前に金融機関とのサウンディングを実施し課題を精査  
したうえで民間事業者とサウンディングに臨むことで、  
事業者目線でのサウンディングが実施できる仕組みと  
している。



## 今年度の活動実績及び活動予定

### セミナー（R7.2）

テーマ：事業者向け公民連携セミナー

講師：連携事業者・行政担当課など

参加者：地元民間事業者

### サウンディングについて

回数：4回 / 案件：4件

✓ サイクルシェア事業

✓ 事業者向け「男性の家事・育児参画セミナー」の内容充実と参加率向上

✓ 東公園動物園「コラボで応援」事業

✓ 敬信寮の利活用

延べ参加者数：77名

### その他活動実績（特徴的な取組等）

✓ 民間提案募集制度によるフリー型（民間事業者からの事業提案）の受付開始（R6.4～）

✓ 岡崎市職員（管理職層）向け公民連携研修の実施（R6.8）

✓ 幸田町職員向け公民連携研修の実施（R6.11）

✓ プラットフォームで取扱うテーマについては、実装にあたり行政の追加支出が発生しない事業も選定。

✓ 民間事業者の事業としても継続的に運営できるスキームを目指す仕組み。

## これまでの成果と今後の課題

### これまでの成果

✓ 事業者向け「男性の家事・育児参画セミナー」の内容充実と参加率向上

→ 公募により1社応募、採択（R7.2事業実施予定）

✓ 男女共同参画事業 子育て世代へ金融教育講座と小学生への学習コンテンツ（プログラミング教室）の同時提供

→ フリー型にて事業者より提案、採択（R6.11事業実施）

✓ 東公園動物園「コラボで応援」事業

→ 事業化に向けて実証実験中（R6.12～）

### 今後の課題

✓ 民間事業者が魅力があると思うテーマを継続的に提供すること

✓ 公民連携の意識醸成

（職員...課題からより良いテーマの発案）

（民間事業者...公共との連携の意義の浸透）

✓ コアメンバーのメリット創出

（ソフト事業が中心となり金融機関に直接的なメリットがもたらされる仕組みに至っていない）



ご清聴ありがとうございました